

平成27年度事業報告

(1) 会員数の動向

年度		26年度末 (27.3.31)	27年度末 (28.3.31)	備考
正会員	企業会員	57	57	±0 (+2-2)
	団体会員	7	7	±0
	個人会員	278	279	+1 (+17-16)
	計	342	343	+1
賛助会員		30	32	+2
学生会員		0	1	+1
合計		372	376	+4

(2) 会議

①第4回定時総会

平成27年5月26日、メルパーク東京（東京都港区）において、正会員246（内委任状出席179）の出席により開催した。今村会長の開会挨拶に続き、林野庁木材産業課木材製品技術室長小坂善太郎様よりご祝辞を頂戴した。その後、議長に今村会長を選出して、議事次第により審議が進められ、平成26年度決算（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）、会員の資格取得に関する定款変更、役員の変更の議案は、全て原案通り承認された。また、平成26年度事業、平成27年度事業計画及び収支予算が報告された。

②理事会

i. 第1回理事会

平成27年5月11日、三会堂ビル（東京都港区）において開催し、第4回定時総会の議題及び会員加入等について審議した。

第4回定時総会の議題は、審議事項として平成26年度決算（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）、定款改訂（個人会員の加入手続き迅速化）、理事及び監事任期満了に伴う役員選任について、報告事項として平成26年度事業報告、平成27年度事業計画（案）及び収支予算（案）、会員の加入、第26回木材保存技術奨励賞及び第12回木材保存学術奨励賞の受賞者の発表とすることを承認した。

また、会員加入は企業会員、賛助会員の各1社の加入を承認した。

一方、理事会報告事項として前回理事会以降の事業等について説明された。

ii. 臨時理事会

第4回定時総会で理事の任期満了に伴う選任を受け、平成27年5月26日、メルパーク東京（東京都港区）において会長、副会長、常務理事を選任するため開催した。会長に今村祐嗣理事、副会長に飯島倫明理事、田中隆行理事、山本英樹理事、常務理事に鈴木昭理事を選任し承認した。

iii. 第2回理事会

平成27年9月9日、商工会館（東京都千代田区）において開催し、木材保存剤等の新規認定登録品、企業会員、賛助会員各1社の加入について審議しそれぞれ承認した。

また、報告事項として会長及び常務理事の自己の業務執行状況の報告（定款22条第3項に規定）は、年2回9月及び2月開催の理事会で報告する事、木材保存剤等登録更新・同変更届、第11・12回木材劣化診断士資格検定講習・試験、第33回木材保存講座兼平成27年度木材保存士更新講習会、第35回木材保存士資格検定講

習・試験の開催、前回理事会以降の事業等について説明された。

iv. 第3回理事会

平成28年2月16日、商工会館（東京都千代田区）において開催し、平成28年度事業計画・収支予算（案）、定款・就業規則等の改訂、第5回定時総会の召集、賛助会員1社の加入、木材保存剤等の新規認定について審議し、定款の改訂以外は承認した。なお、定款は平成28年5月に開催する理事会で再検討することとされた。

また、報告事項として会長及び常務理事の自己の業務執行状況の報告、木材保存剤等登録更新・同変更届、会員の加入と会員数の状況、第32回年次大会の開催概要、マイナンバーに関する対応等について説明された。

③正副会長会議

平成27年7月9日、8月29日、30日、10月1日、12月14日の合計5回を協会会議室で開催し、職員の採用、事業の進捗状況の確認、理事会審議事項、木材保存学入門改訂3版の増刷、協会の運営等について検討し、それぞれに対応する委員会に必要な対策を講じる様指示した。

(3) 委員会及び部会活動

①企画運営委員会

i. 第1回企画運営委員会

平成27年4月23日、協会会議室において開催し、第1回理事会への提案議題として、第4回定時総会の議題及び会員加入について審議し、第4回定時総会の議題は平成26年度決算（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）、定款改訂（個人会員の加入手続き迅速化）、理事及び監事任期満了に伴う役員の選任、報告事項として平成26年度事業報告、平成27年度事業計画（案）、収支予算（案）、第26回木材保存技術奨励賞、第12回木材保存学術奨励賞の受賞者とする事及び会員加入を承認することについて理事会に提案することを承認した。

また、委員会の報告事項として、前回委員会以降の事業等について説明された。

ii. 第2回企画運営委員会

平成27年8月21日、協会会議室において開催し、第2回理事会への提案議題として、木材保存剤等の新規認定、会員の加入について審議し、理事会の議題とすることを承認した。また、報告事項として前回委員会以降の事業報告、木材保存剤等の登録更新・変更届、第11・12回木材劣化診断士資格検定講習・試験、第33回木材保存講座兼平成27年度木材保存士更新講習会の開催、第35回木材保存士資格検定講習・試験の実施等について報告された。

iii. 第3回企画運営委員会

平成28年2月5日、協会会議室において開催し、第3回理事会への提案議題として、平成28年度事業計画・収支予算（案）、定款及び就業規則の改訂、第5回定時総会の召集、会員の加入、木材保存剤等の新規認定について審議し、理事会の議題とすることを承認した。また、報告事項として前回委員会以降の事業報告、木材保存剤等の登録更新・変更届、第32回年次大会の開催概要、マイナンバーの対応、林野庁委託事業の実施状況等が報告された。

②認定委員会

平成27年6月18日メール会議、8月19日、平成28年1月27日、協会会議室において合計3回開催して、木材保存剤等の新規認定、認定更新、変更申請、変更届等について審議し、企画運営委員会に報告するとともに、理事会に提案した。

③広報委員会

会誌「木材保存」を発行する為、委員会と幹事会を隔月に合計12回開催し、企画・編集等を行い6回発行した。また、当協会のホームページの充実、メールマガジンの配信を行った。また、拡大広報委員会を平成28年3月28日、名古屋大学（名古屋市）において開催し、平成28年度の活動方針等を確認した。

④木材保存士委員会

「第33回木材保存講座兼平成27年度木材保存士更新講習会」（平成27年12月東京、京都）及び「第35回木材保存士資格検定講習・試験」（平成28年1月東京）を実施した。

委員会は、平成28年3月7日、協会会議室において開催し、木材保存士の資格検定試験の可否を判定及び各アンケートの回答により講習会の開催方法等の見直しを行った。また、平成28年度の更新講習、資格検定試験の実施方法及び保存講座の任期を迎える講師の後任について講義の課題を決め、講師を選任することとした。

⑤木材劣化診断士委員会

「第12回木材劣化診断研修会兼更新講習会」（平成27年7月東京）及び「第11回、12回木材劣化士資格検定講習・試験」（平成27年8月東京、9月大阪）を実施した。

委員会は、平成27年10月20日、協会会議室において開催し、木材劣化診断士資格検定試験の可否を判定及び次回の資格検定講習・試験等の実施、国土交通省の既存住宅インスペクション講習団体の申請等について打合せを行った。

⑥年次大会運営委員会

平成28年5月の定時総会と同時開催する「第32回年次大会」の企画、運営について、平成27年12月3日、平成28年3月4日、協会会議室において開催し、準備作業内容、役割分担等の打合せを行った。

⑦授賞選考委員会

平成28年3月28日、名古屋大学（名古屋市）において開催し、平成28年5月の定時総会で与する「第27回木材保存技術奨励賞」及び「第13回木材保存学術奨励賞」の受賞者の選考を行い、候補者を会長に報告した。

(4) 規程の改正

職員退職手当規程、事務局規程、謝金規程の見直し及び特定個人情報基本方針、マイナンバー管理規程を策定し理事会の承認を得て発効した。

(5) 事業

①公益目的事業

i. 木材保存に関する調査研究事業【公1】

a. 木材保存剤の定量分析技術の高度化（林野庁）

CLT等新たな製品・技術の開発・普及事業（住宅等における新たな製品・技術開発）の木材保存剤の含有濃度測定の為の定量分析技術の高度化研究を実施し、研究結果を報告した。

b. 木材劣化診断データ収集

劣化診断士の診断技術の向上と診断実務の支援事業として、レジストグラフ（穿孔抵抗値測定装置）を当協会で購入し、木材劣化診断士に貸出をしている。また、年間の活動報告として提出頂いている診断データ件数は増えている。

ii. 木材保存に関する普及啓発及び指導事業【公2】

a. 年次大会の開催

平成27年5月26日～27日、メルパルク東京（東京都港区）において、「第31回年次大会」を開催した。ポスター発表23件、口頭発表7件、公開シンポジ

ウム「シロアリ被害地域の変遷を検証し、その対策を考える」企業展示を実施した。

- b. 木材保存技術奨励賞、木材保存学術奨励賞、年次大会ベストポスター賞、優秀ポスター賞の授与

木材保存に関する技術者・研究者の育成を図るため、平成27年5月26日に開催した総会において、優れた技術業績、研究業績に対して第26回木材保存技術奨励賞及び第12回木材保存学術奨励賞を授与した。また、「第31回年次大会」における優秀なポスター発表に対してベストポスター賞及び優秀ポスター賞を授与した。

- c. 木材保存講座の開催

木材保存に関する新しい知識の習得を目的に「第33回木材保存講座」を平成27年12月4日、木材会館（東京都江東区）、12月18日、コープイン京都（京都市中京区）において開催し、205名が受講した。

- d. 木材劣化診断研修会の開催

劣化診断に関する新しい知識・技術の普及を図る為、「第12回木材劣化診断研修会」を平成27年7月21日、東京農業大学グリーンアカデミー（東京都世田谷区）において開催し、39名が受講した。

- e. 会誌「木材保存」の発行

第41巻第3号～第6号、第42巻第1号～第2号を発行した。

iii. 適正な木材保存処理の推進事業【公3】

- a. 木材保存剤等の新規認定、認定登録更新

消費者に対し効力と安全性に優れた木材保存剤等を提供するため、木材保存剤等の認定を行っている。今年度は新たに16製品（内訳：木材防蟻剤3製品、木材防腐・防蟻剤10製品、防蟻剤処理非木質系製品3製品）を認定した。

また、平成27年度中に登録の有効期間を満了する木材保存剤等については更新審査を行い114製品の登録更新を承認した。

- b. 木材保存士の登録・育成

木材及び木質材料に関する保存処理の適正化及び保存処理製品の品質の安定・向上を担保することを目的に資格認定している木材保存士について、「第35回木材保存士資格検定講習・試験」を平成28年1月21日～22日、木材会館（東京都江東区）において開催し、試験に合格した54名を新たに木材保存士として登録した。

- c. 木材劣化診断士の登録・育成

使用されている保存処理木材及び種々の木質材料の劣化診断を行い、これらの材料が適切に維持管理され、耐久性の向上を図ることを目的に資格認定している「木材劣化診断士資格検定講習・試験」について、第11回を平成27年8月28日、メルパルク東京（東京都港区）、第12回を9月2日、エル・おおさか（大阪府中央区）において開催し、試験に合格した52名を新たに木材劣化診断士として登録した。

②収益事業等

- i. 木材保存に関する性能試験等の受託事業【収1】

- a. 木材保存剤等の性能試験

木材保存剤の開発等に係る性能試験を会員、非会員各1社よりそれぞれ1薬剤について受託し実施した。

- b. 日本木材保存剤工業会の事務受託

日本木材保存剤工業会より協会事務所での委員会開催準備、総会開催の手配、資料の受発信などの総務機能の業務を受託し実施した。

以上